

# 生ごみの減量化にご協力ください

伯耆町から排出される可燃ごみの量は年間約2500トンです。現在、可燃ごみは2つの施設で処理しており、その処理経費は約1億円にものぼります。町では、処理経費の削減や施設の老朽化から、焼却施設の集約化を図ることとしています。そのため、生ごみを減量することが可燃ごみの減量化には一番効果的です。

## 生ごみを資源化しましょう (コンポストによるたい肥化)

### (1) 生ごみコンポストモニター実験

7月から6カ月間、生ごみコンポストのたい肥化モニター実験を行いました。モニターが多く、苦労はあるものの生ごみの減量化に効果があった。と回答しました。

### ◆コンポストを利用した感想

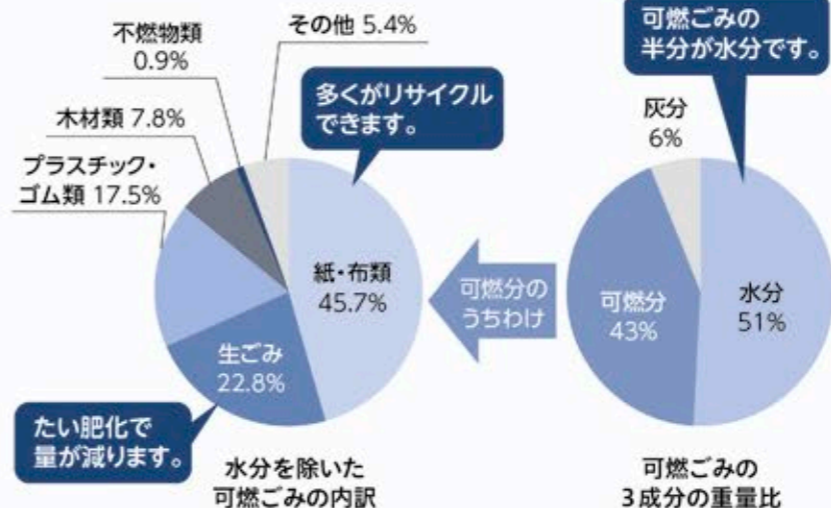
#### (よかった点)

- 液肥をまいた植物は元気になった気がする。
- 生ごみとして捨てる量が減ってよかった。

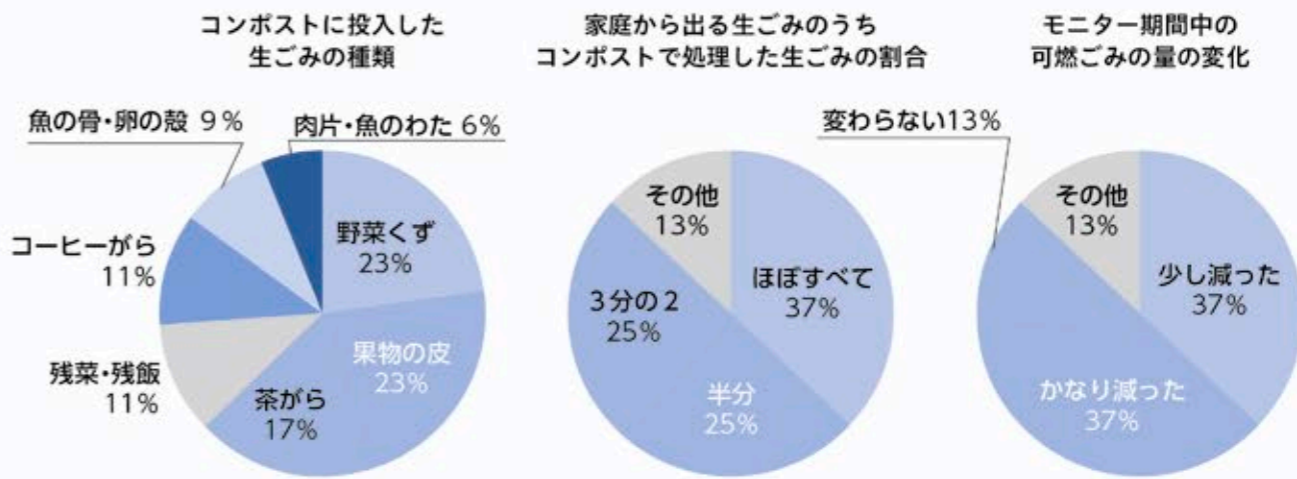
#### (苦労した点)

- 入れるごみの大きさ、分量、EM菌(生ごみの発酵を促進させるもの)の分量、

## 可燃ごみの内訳



## モニターアンケート結果



かき混ぜる程度などにその都度頭を使うので、かなりくたびれた。もっと楽にできるのではないと、他の人に勧めることは難しい。

- 虫が発生した。
- 虫防止にビニールをかけたなら、虫は減ったが臭いは変わらなかった。
- ぼかしが思ったよりも高額。

ぼかし：米ぬかやもみ殻などをEM菌と混ぜ合わせたもの。

## (2) コンポスト容器購入費補助制度

コンポストとは、生ごみと土を混ぜ、微生物や土壌動物の力を借りて生ごみをたい肥に変える容器です。価格は大きさに異なりますが、5千円から1万円程度で購入できます。各家庭で生ごみ処理を行ってもらうため、コンポスト容器購入費の45%を補助しています。

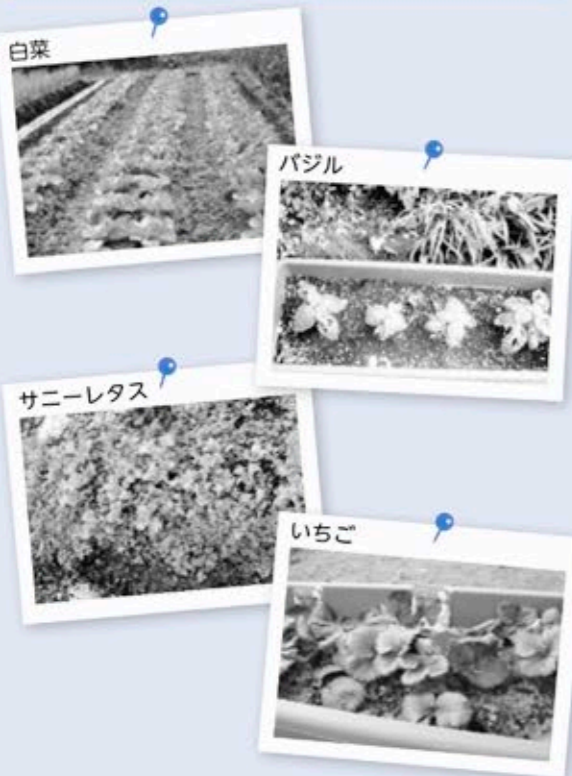
◆補助の申請に必要なもの

- 請求書または領収書(レシートでも可)と写真
- 補助金の振込口座が分かるもの

## 生ごみの「水切り」を徹底しましょう

生ごみの80%は水分です。1世帯が、生ごみの水分を1日あたり約60グラム(卵1個分の水分)

## できたたい肥で育てた作物を紹介します



▲コンポスト

## 食品ロス(食べ残しなど)を削減しましょう

日本では、本来食べることができなのに、食べ残しや期限切れなどで捨てられてしまう食品が、年間500〜800トンにものぼります。これは、コメの年間生産量に匹敵します。1人当たり、おにぎりを毎日1〜2個捨てていることとなります。

### 買い過ぎない

買い物をする際は、必要な分だけ買うように心がけましょう。

### 作り過ぎない

食材はなるべく使い切るよう心がけましょう。

### 食べ残さない

出された料理は、残さずに食べましょう。

